

小児救急医療体制について

I. 現状と課題

(1) 小児一次救急医療体制

桑名医師会に、小児一次救急に対応する応急診療所の運営を委託している。

応急診療所の運営にあたっては、桑名地域（いなべ市・東員町含む）の小児科開業医及び桑名市民病院の小児科医が、山本総合病院の小児科診療の応援を行うところで、夜間の外来診療及び応急診療所のバックアップ体制をとっていた。

【平成 22 年度 応急診療所利用状況】

診療日	診療日数	患者数	診療科別内訳		二次病院等への紹介患者数	うち山本総合病院
			小児科	内科		
平日夜間	296 日	828 人	626 人	202 人	132 人	90 人
日・祝	68 日	1,621 人	1,165 人	456 人	256 人	156 人
合 計	364 日	2,449 人	1,791 人	658 人	388 人	246 人

応急診療所は、小児科だけでなく内科及び外科の医師により当番制で診察を行っている。

このため、小児科以外の医師が診察を行う場合は、小児医療のためのバックアップが必要で、8月1日以降は山本総合病院のバックアップ機能がなくなるため、早急にその体制を再構築する必要がある。

(2) 小児二次救急医療体制

小児医療センター機能を担う山本総合病院が、小児二次救急（入院治療）を市内唯一の病院として行っていた。

【平成 22 年度 山本総合病院への小児救急搬送状況】

搬送者数	時間別		年齢別		症状別		
	業務時間内 9時～20時	業務時間外 20時～翌9時	0歳～6歳	7歳～15歳	軽症	中症	重症 死亡
(小児 330 人中) 210 人	105 人	105 人	169 人	41 人	99 人	109 人	2 人

しかし、山本総合病院の小児科医 2 名のうち 1 名が、8 月から休職することになり、8 月 1 日以降は小児の二次救急の受け入れ及び入院治療を休止することとなった。

このため、市内に小児の二次救急の受け入れ、及び入院治療を行う病院がなくなる

ため、次のような課題に対応する必要がある。

①救急搬送病院の確保

市外及び県外の救急病院等へ搬送することになり、市立四日市病院、県立総合医療センター、いなべ総合病院、海南病院への救急の受け入れを要請する必要がある。

②救急搬送時の一次・二次のスクリーニング（ふるい分け）

入院の必要のない一次救急患者を市外の三次救急病院へ搬送することにならないよう、市内医療機関において一次、二次のスクリーニングを行う体制を構築する必要がある。

③小児医療センターの再構築

市内の病院の小児科医は、山本総合病院に2人（うち1人休職）、桑名市民病院1人となっているが、それぞれの病院で出身大学・医局が異なっているため、人事が複雑となっている。

医師派遣元である三重大学小児科医局では、今後の医師派遣には小児医療センターの整備を条件としている。

II. 今後の対応

（1）小児一次救急医療体制

①応急診療所の診療体制の見直し

桑名医師会及び病院勤務医も含む小児科医会等と協議した結果、土曜日の夜間と日曜・祝日の昼間については、小児診療のバックアップ体制のもと、診療を継続することになった。

しかし、月曜日から金曜日の夜間の診療については、休止することとなったため、例えば高齢などの理由により第一線を退いた小児科医等の情報を収集し、応急診療所への勤務を依頼するなど、新たな医師確保により早期の診療再開に向け努力する。

さらに、かかりつけ医を持つことやみえ子ども医療ダイヤル（#8000）の利用の啓発を行うとともに、24時間365日対応できる民間の電話相談サービス業務を委託し、健康・医療相談を行うことにより、応急診療所機能の補完をすることで、市民の子育てに関する不安の解消を図るとともに、コンビニ受診の削減に繋げ小児科医の負担の軽減を図る。

（2）小児二次救急医療体制

①救急搬送病院の確保

市及び桑名医師会より、市立四日市病院、県立総合医療センター、いなべ総合

病院、海南病院へ救急・入院患者の受け入れの依頼を行い、満床でない場合や軽症者のスクリーニングなど一定の条件はあるが、了承は得られた。

②救急搬送時の一次・二次のスクリーニング（ふるい分け）

平日の昼間（診療時間内）については、救急輪番病院の小児科医及び開業小児科医と連絡を取れるため、スクリーニングを行う体制は確保できている。

平日夜間及び休日については、応急診療所での対応のほか、救急輪番病院にも対応を取れる体制を依頼するが、完全な対応が取れない状況である。

このため、民間の24時間365日対応の医師、保健師、看護師等による医療電話相談サービス業務を委託し、小児の急病時に救急搬送の可否を判断するための支援等が行える体制を整備し、救急車等によるコンビニ受診の削減を図る。

③小児医療センターの再構築による小児科医の確保

小児の二次救急医療及び入院治療に対し、24時間365日の対応ができる小児医療センターの整備を早急に行い、小児科医の集約を図るとともに、三重大学に対し小児科医の派遣を要請する。